

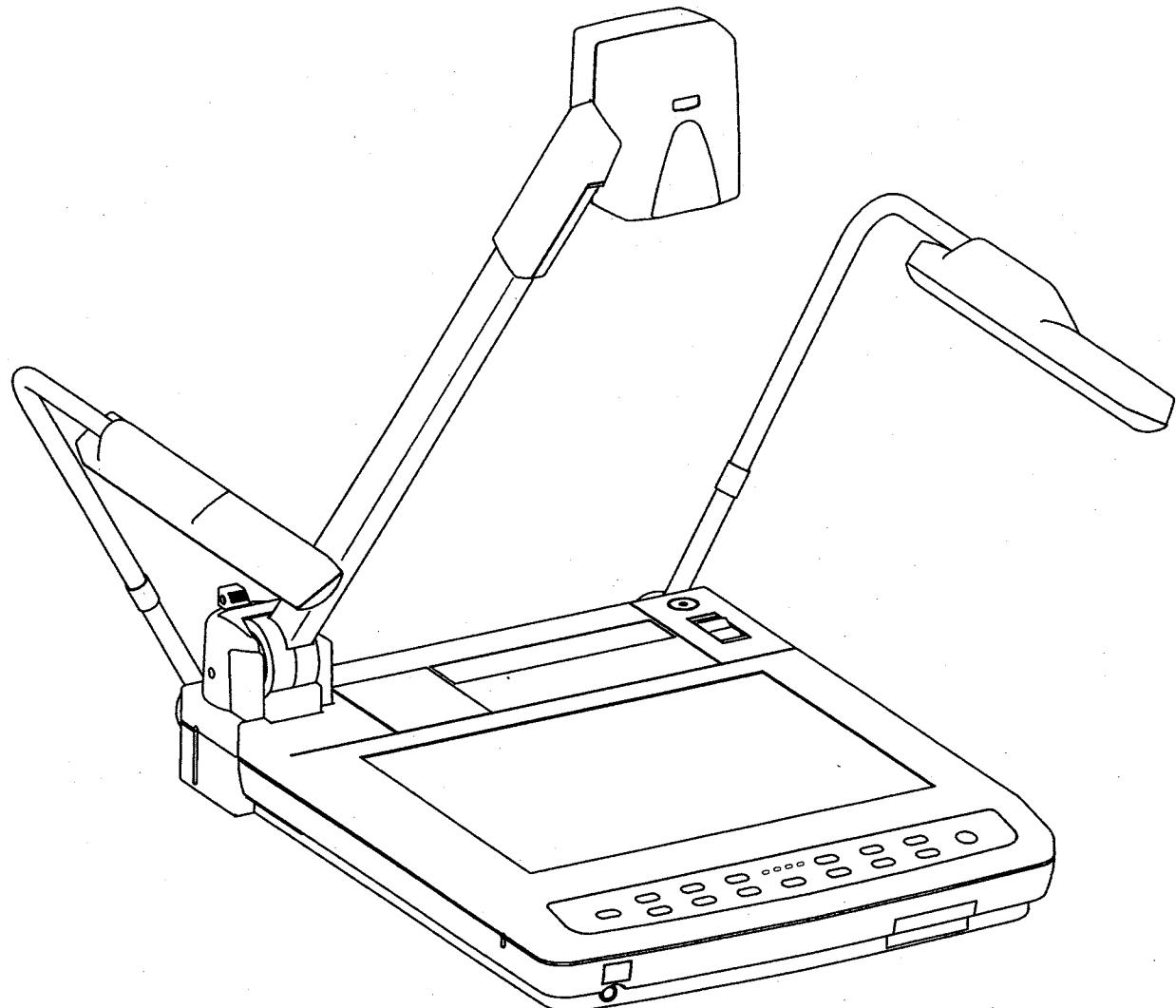
ELMO

ビジュアルプレゼンター

HV-700SX

取扱説明書

VISUAL PRESENTER



ご使用に先だち取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保存してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために—必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

！警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

！注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

△は、注意（警告を含む）を示します。



具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。

左図の場合は、「感電注意」を示します。

○は、禁止（していけないこと）を示します。



具体的な注意内容は、○の中や近くに文章や絵で示します。

左図の場合は、「分解禁止」を示します。

●は、強制（必ずすること）を示します。



具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。

左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告

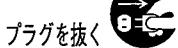
万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などが出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。



万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



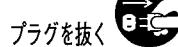
万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
(特にお子様のいるご使用環境ではご注意ください。)



画像が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。



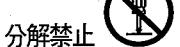
万一、機器を落としたり、キャビネットなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に、交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



機器の、裏ぶた、キャビネット、カバーは、外さないでください。
感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。



機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



機器に水や異物が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。）



⚠ 警告

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、
加熱したりしないでください。

コードが破損して、火災・感電の原因となります。

禁止



風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

禁止



電源プラグの刃や取付面にはこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ほこりをと
ってください。

電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。

注意



雷が鳴り出したら本体接続ケーブル、電源プラグなどには触れないでください。

感電の原因となります。

接触禁止



機器本体の電源コンセント（電源出力）は表示されている電力容量（電流容量）を超える

接続をしないでください。

火災の原因となります。

禁止



⚠ 注意

移動させる場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、移動してください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜く



お手入れや蛍光ランプ交換の際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて、ランプや機器が熱くないことを確認してから行ってください。また、ランプは指定のものをお使いください。感電・火傷・火災の原因となることがあります。

注意



機器を長時間、ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

プラグを抜く



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁止



キャスター付きの台に機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。
動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁止



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁止



この機器に乗ったり、重いものを乗せないでください。特に、小さなお子様のいるご
使用環境ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止



電源コードを熱器具に近づけないでください。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁止



使用上のご注意

■本機は日本国内用に作られたものです。必ずAC100V、50Hzまたは60Hzでお使いください。
電源の異なる外国ではご使用になれません。

■保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。
変色、変形、故障の原因となることがあります。

■湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所、振動の多い所には置かないでください。
使用上の環境条件は次のとおりです。

温度：5°C～40°C 湿度：30%～85%以下（結露しないこと）

■本機の清掃は、乾いたやわらかい布で拭いてください。
シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。

■カメラレンズを直接太陽に向けないでください。撮影不能になることがあります。

■乾電池についてのご注意

- ・長時間使用しないときは、取り出してください。
- ・充電式乾電池（Ni-Cd）は使用しないでください。
- ・新旧、異種の乾電池を混用しないでください。
- ・充電したりショートさせたりしないでください。

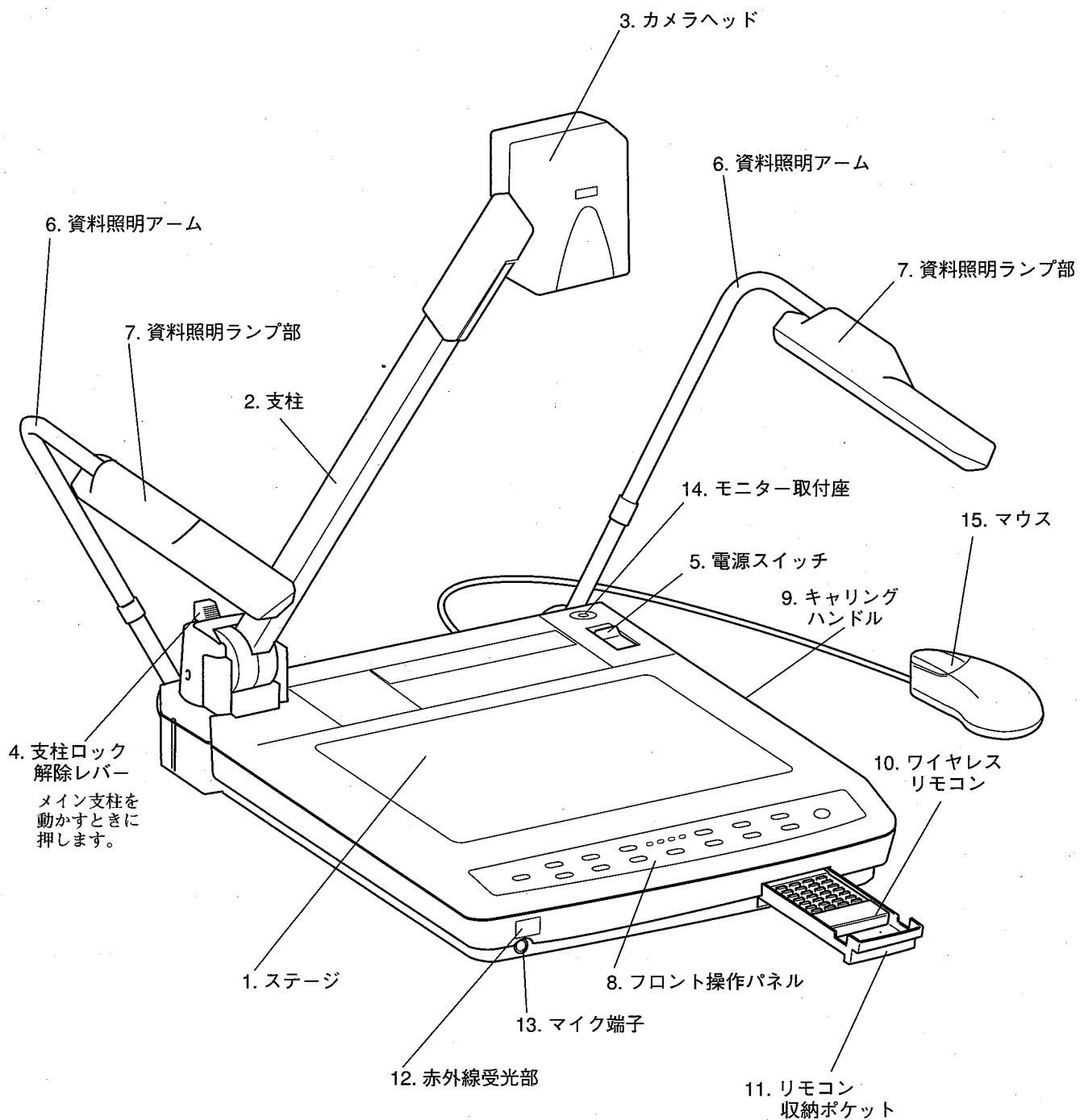
もくじ

1. 各部の名称	8
外観	8
フロント操作パネル	9
背面パネル	10
ワイヤレスリモコン	11
2. ワイヤレスリモコンについて	13
準備	13
3. マウスについて	13
4. 本体のセットアップ	14
モニター、プロジェクタとの接続	15
RGB入力端子を持つ機器との接続	
コンポジットビデオ入力端子を持つ機器との接続	
Sビデオ入力端子を持つ機器との接続	
RGB入力信号について	16
信号割付	
端子配列	
RGB出力信号について	16
信号割付（DSUB 15P シュリンク端子）	
アナログRGBケーブルの結線方法	
映像出力（RGB、コンポジット、Sビデオ）に関する制限事項	
資料提示装置（HD-80XG）の接続	18
5. 資料提示の操作手順	19
印刷物などの資料を提示する場合の簡単な操作手順	19
スライドフィルムなどの透過資料を提示する場合の簡単な操作手順	20
収納	21
6. 各種機能について	22
照明	22
入力選択	22
映像、音声入出力端子切換一覧表	
解像度変換	23
ズーム	24
フォーカス	24
オートフォーカス	
電動マニュアルフォーカス	
ポジ／ネガ反転	26
カラー／白黒切換	26
画像回転	26
アイリス	27
ビデオポインター	27
フリーズ	27
電子画像拡大	28
LCDモニター取付座について	28
パソコンリンクソフト「Image Mate for USB」について	28

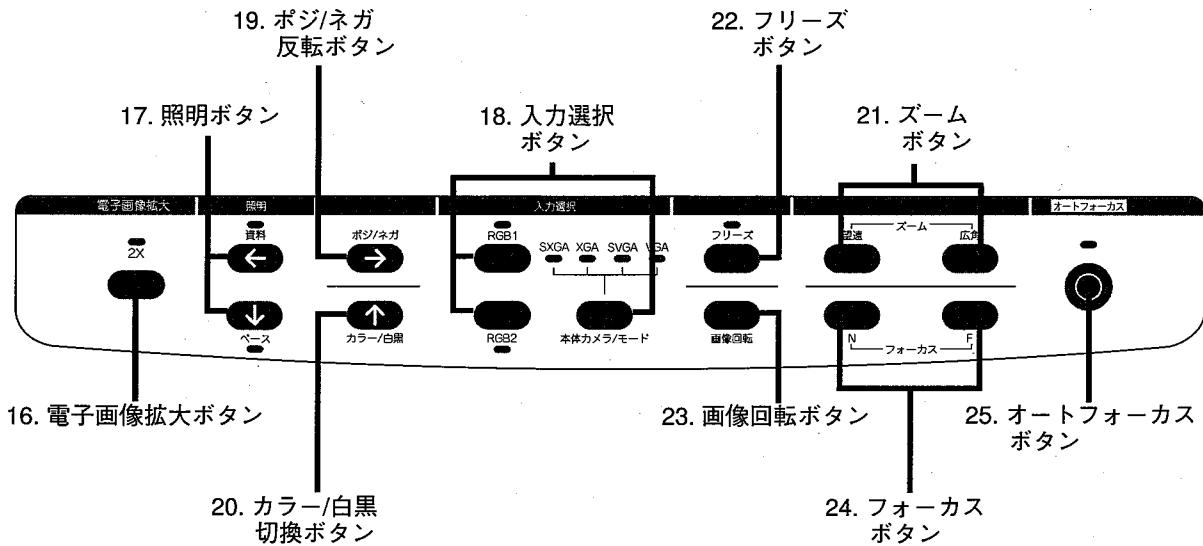
7. OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) について	29
メインメニューについて	30
セットメニューについて	31
8. RS-232Cについて	33
セットアップの方法	33
接続ケーブルの結線方法	34
RS-232Cコネクタ仕様 (DSUB 9P)	34
通信コマンド一覧表	35
データフォーマット仕様	36
操作コマンド (パソコン→本機)	
応答データフォーマット (本機→パソコン)	
通信仕様	37
接続について	37
9. 照明ランプ (蛍光ランプ) について	38
10. 故障かな?と思ったら	39
11. 仕様	40
総合仕様	
カメラ部仕様	
照明装置	
付属品	
別売りオプション	

1. 各部の名称

○外観

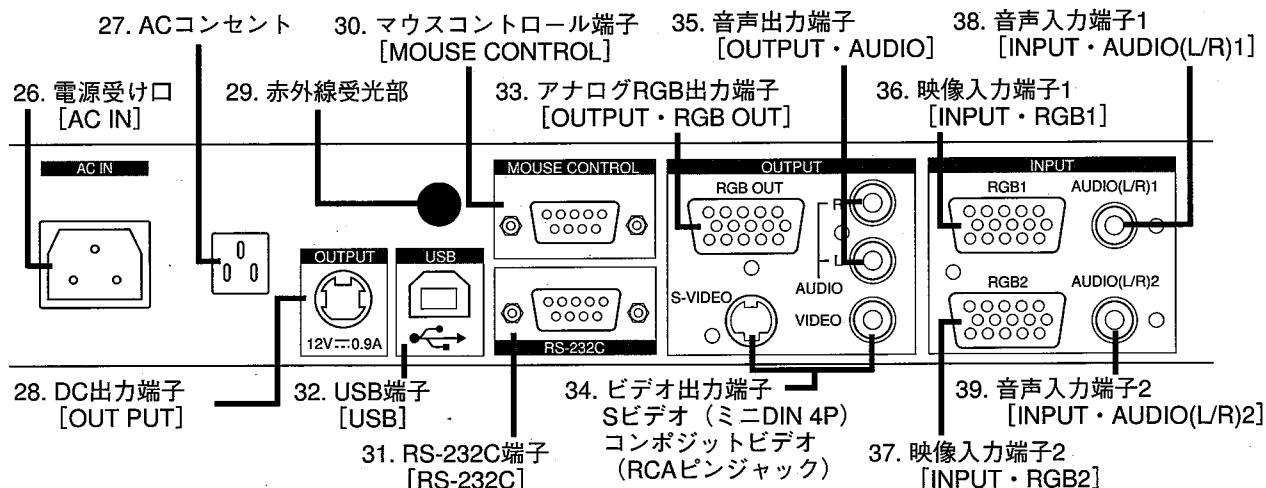


○フロント操作パネル



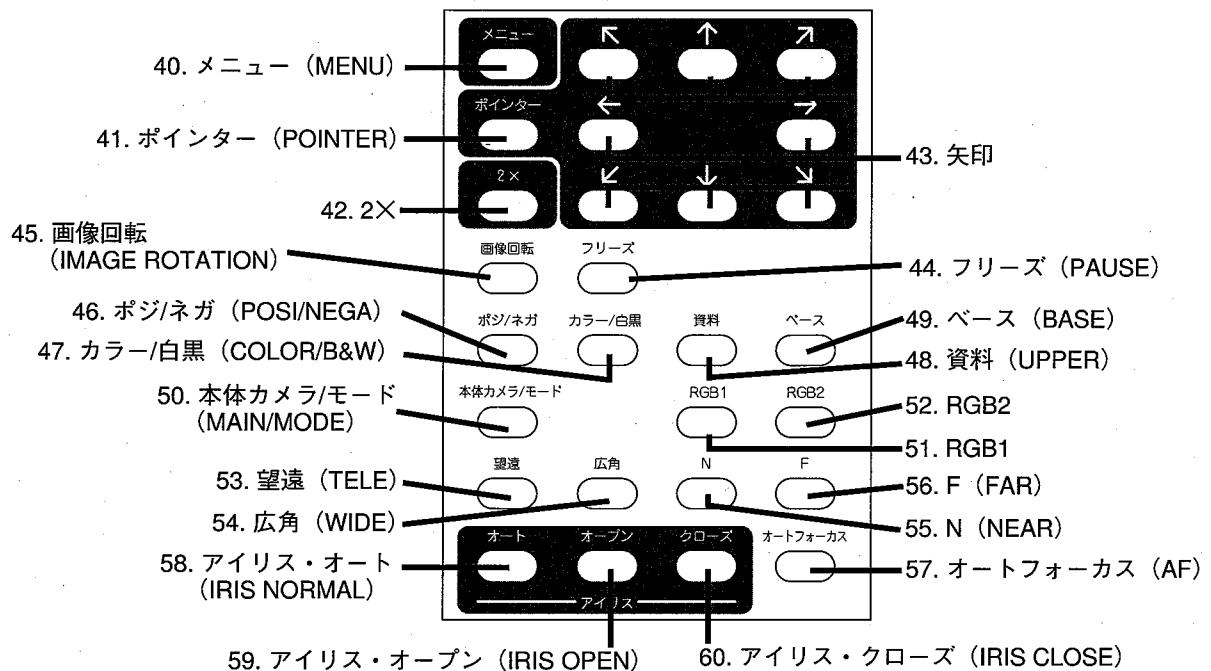
	名称	働き	参考ページ
16.	電子画像拡大ボタン	映像を2倍に電子拡大するときに使用します。 矢印ボタンにて映像をスクロールします。	P.28
17.	照明ボタン [←] [↓] (矢印ボタン)	照明のON/OFFに使用します。 電子画像拡大時には、矢印方向へ映像がスクロールします。	P.22
18.	入力選択ボタン 本体カメラ/モードボタン	入力系統の切換えに使用します。 モニターがSXGAに対応していない場合は、本体の解像度を変換して、SXGA→XGA→SVGA→VGAの順に切り換えることができます。	P.22 P.23
19.	ポジ/ネガ反転ボタン [→] (矢印ボタン)	ネガフィルムを提示するときに使用します。 電子画像拡大時には、矢印方向へ映像がスクロールします。	P.26
20.	カラー/白黒切換ボタン [↑] (矢印ボタン)	文書などの白黒原稿を提示するときに使用します。 電子画像拡大時には、矢印方向へ映像がスクロールします。	P.26
21.	ズームボタン	映像のサイズをえるときに使用します。	P.24
22.	フリーズボタン	映像を一時的に静止するときに使用します。	P.27
23.	画像回転ボタン	映像を回転するときに使用します。 1回押すごとに、反時計回りに90°ずつ回転します。	P.26
24.	フォーカスボタン	電動マニュアルでピント合わせをするときに使用します。	P.25
25.	オートフォーカスボタン	自動でピント合わせをするときに使用します。 ワンショットオートフォーカス方式 (FOCUSFREE) です。	P.24

○背面パネル



	名称	働き	参考ページ
26.	電源受け口 [AC IN]	電源コードコネクタ差し込み口です。	
27.	ACコンセント	最大400Wまで電力を供給します。(電源スイッチ非連動)	
28.	DC出力端子 [OUTPUT]	DC12Vが出力されます。最大0.9Aまでの機器を接続できます。 付属のDCケーブルを使用することにより、別売のLCDモニター (LM-5011N) やエルモ 資料提示装置 (HD-80XG) を接続できます。 [注] エルモ HD-80XG、LM-5011N以外の機器は接続しないでください。	
29.	赤外線受光部	ワイヤレスリモコンの受光部です。本体後ろからリモコンを用いるときには、この受光部に向けて操作してください。	P.13
30.	マウスコントロール端子 [MOUSE CONTROL]	付属のマウスを接続します。 [注] 接続はシリアルタイプのマウスです。	
31.	RS-232C端子 [RS-232C]	コンピューターから本体を制御するときに、RS-232Cケーブルを接続します。 [注] 本体制御にUSB端子を使用しているときは、使用できません。	P.33
32.	USB端子 [USB]	付属のUSBケーブルを接続し、付属のCD-ROM「Image Mate for USB」で画像転送や本体の制御を行います。 [注] 本体制御にRS-232C端子を使用しているときは、本体制御できません。	
33.	アナログRGB出力端子 [OUTPUT・RGB OUT]	液晶プロジェクターやマルチシンクモニターなどRGB入力機器に接続すると、映像が出力されます。	
34.	ビデオ出力端子 [OUTPUT・S-VIDEO/VIDEO] Sビデオ (ミニDIN4P) コンポジットビデオ (RCAピンジャック)	TVモニターや別売のLCDモニター (LM-5011N) などNTSC/PAL用モニターに接続すると、映像が出力されます。	
35.	音声出力端子 [OUTPUT・AUDIO]	音声入力機器に接続すると、音声が出力されます。	
36.	映像入力端子1 [INPUT・RGB1]	入力選択がRGB1のときにこの端子からの映像がアナログRGB出力端子より出力されます。	
37.	映像入力端子2 [INPUT・RGB2]	入力選択がRGB2のときにこの端子からの映像がアナログRGB出力端子より出力されます。	
38.	音声入力端子1 [INPUT・AUDIO(L/R)1]	入力選択がRGB1のときにこの端子からの音声が音声出力端子より出力されます。	
39.	音声入力端子2 [INPUT・AUDIO(L/R)2]	入力選択がRGB2のときにこの端子からの音声が音声出力端子より出力されます。	

○ワイヤレスリモコン



	名称	働き	参考ページ
40.	メニュー (MENU)	OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) メニューを呼び出すとき、および設定の決定に使用します。	P.29
41.	ポインター (POINTER)	画面上にビデオポインターを表示するときに使用します。	P.27
42.	2×	映像を2倍に電子拡大するときに使用します。	P.28
43.	矢印	ビデオポインター表示中のポインターの移動、OSDの選択および電子画像拡大時と画像回転 (90° / 270°) 時の画面スクロールに使用します。	P.27, 28
44.	フリーズ (PAUSE)	映像を一時的に静止するときに使用します。	P.27
45.	画像回転 (IMAGE ROTATION)	映像を回転するときに使用します。1回押すごとに反時計回りに 90° ずつ回転します。	P.26
46.	ポジ/ネガ (POSI/NEGA)	ポジ/ネガを切換えるときに使用します。	P.26
47.	カラー/白黒 (COLOR/B&W)	カラー/白黒を切換えるときに使用します。	P.26
48.	資料 (UPPER)	資料照明のON/OFFに使用します。	P.22
49.	ベース (BASE)	ベース照明のON/OFFに使用します。	P.22
50.	本体カメラ/モード (MAIN/MODE)	本体カメラ映像に切換えるときに使用します。モニターがSXGAに対応していない場合は、本体の解像度を変換して SXGA → XGA → SVGA → VGA の順に切り換えることができます。	P.23
51.	RGB1	RGB1映像入力に切換えるときに使用します。	P.22
52.	RGB2	RGB2映像入力に切換えるときに使用します。	P.22
53.	望遠 (TELE)	望遠側へズーミングするときに使用します。	P.24
54.	広角 (WIDE)	広角側へズーミングするときに使用します。	P.24
55.	N (NEAR)	ピントを手前側へ移動するときに使用します。	P.25
56.	F (FAR)	ピントを遠方側へ移動するときに使用します。	P.25
57.	オートフォーカス (AF)	自動でピント合わせするときに使用します。	P.24
58.	アイリス・オート (IRIS NORMAL)	自動アイリスにするときに使用します。	P.27
59.	アイリス・オープン (IRIS OPEN)	マニュアルアイリスで絞りを開くときに使用します。	P.27
60.	アイリス・クローズ (IRIS CLOSE)	マニュアルアイリスで絞りを閉じるときに使用します。	P.27

2. ワイヤレスリモコンについて

赤外線の発光部を本体前面および背面パネルの受信部に向けて希望の動作のボタンを押します。
受信可能範囲は本体前面の受信部に対し左右それぞれ 30° の範囲で7m以内、背面パネルの受信部に対し左右それぞれ 5° の範囲で7m以内です。
太陽光やインバータ蛍光灯の近く等、周囲の状況により短くなることがあります。
また蛍光灯等の条件により受信しないことがあります。その場合は受信側の設置場所を変更するなどの対処をしてください。

○準備

裏面の電池ケースカバーを、[▼] マーク部分を押し下げながら矢印の方向にずらして外します。
電池ケース内の表示の向きに従って、単4乾電池2個を入れます。

[注] 十一の極性は指示通り正しく入れてください。

[注] 乾電池の寿命は使用条件、種類により異なりますが、約1年で新しいものと交換してください。

[注] 付属の乾電池は、動作確認用のものですので、有効使用期間は保証されません。

3. マウスについて

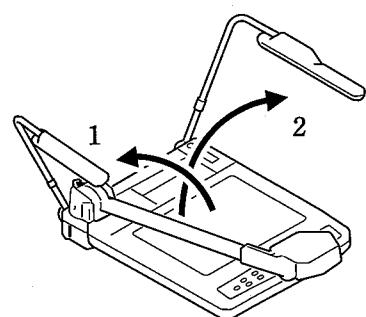
背面パネルのマウスコントロール端子に接続します。
マウスにより「OSD」「ビデオポインター」の表示および操作ができます。

参照

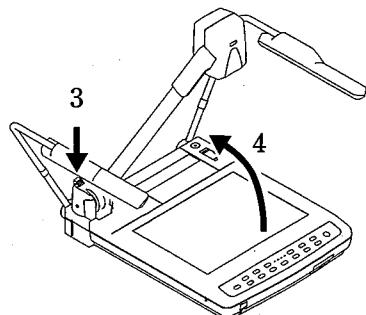
・OSDについて	P.29
・ビデオポインター	P.27

4. 本体のセットアップ

- (1) 資料照明アームを本体に対して止まるまで開きます。
右図の1のほうから片方ずつ開いてください。



- (2) 支柱ロック解除レバーを押し、支柱ロック解除レバーが戻る位置まで支柱を引き起こします。このとき完全にロックがかかるまで引き起こしてください。



- (3) 電源コードを本機の電源受け口およびコンセントに接続します。

○モニター、プロジェクターとの接続

[注] 本機および接続する機器を保護するため、接続するときは必ずすべての機器の電源スイッチをOFFにしてください。

[注] ビデオケーブルを抜き差しするときは、ケーブルのプラグ部を持ってください。

●RGB入力端子を持つ機器との接続

本機RGB出力端子と、RGB入力端子を持つ機器を付属のアナログRGBケーブルまたは市販の接続ケーブルで接続します。

このとき、表示の位置が中心からずれることがあります、接続した機器側で水平、垂直位置をマニュアル調整してください。

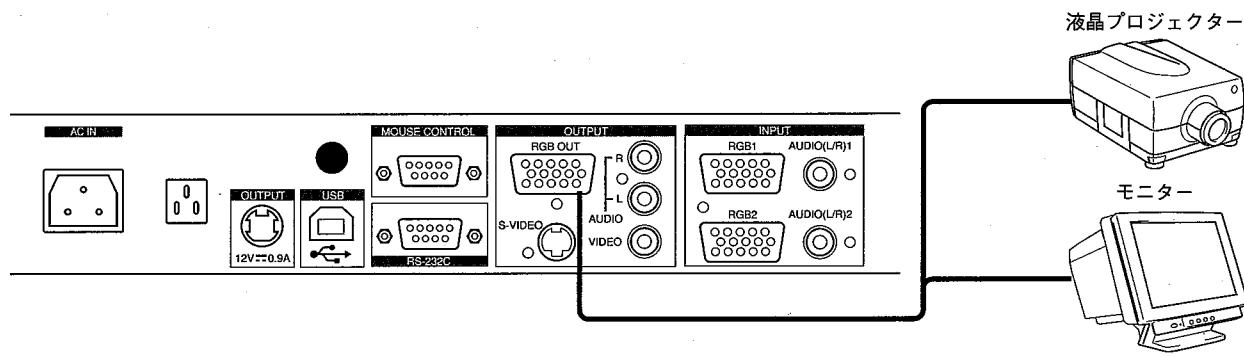
また、液晶プロジェクターでは、画面に縦縞が現れることがあります、プロジェクター側のドットクロック周波数をマニュアル調整することで、軽減することができます。

[注] 接続する機器の解像度にあわせて本体の解像度を変換できます。

参照

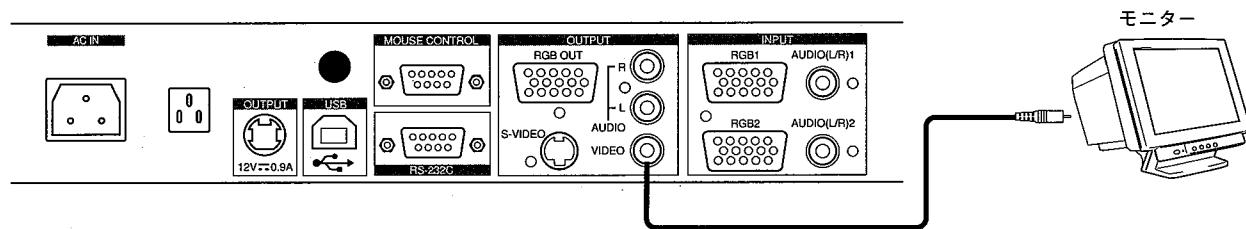
・解像度変換

P.23



●コンポジットビデオ入力端子を持つ機器との接続

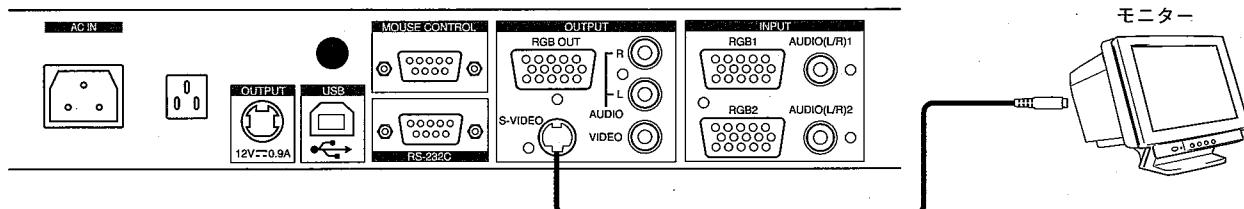
付属のRCAピンプラグ付きビデオ／オーディオケーブルで接続してください。



●Sビデオ入力端子を持つ機器との接続

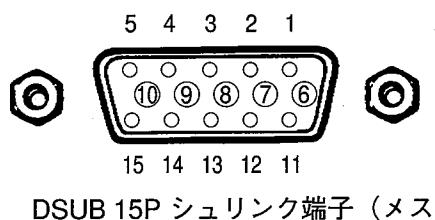
本機Sビデオ出力端子（ミニDIN 4P）と、Sビデオ入力端子付きモニターを接続します。

Sビデオ出力をご使用の場合は、付属の4PミニDINケーブルまたは市販の接続ケーブルをお求めください。使用する機器がY/C分離のコネクタになっている場合は変換アダプターが必要となります。



○RGB入力信号について

●信号割付



入力信号

映像信号 アナログ 0.7V(p-p) 75Ω終端

水平同期信号 TTLレベル (正／負極性)

垂直同期信号 TTLレベル (正／負極性)

複合同期信号 TTLレベル (正／負極性)

●端子配列

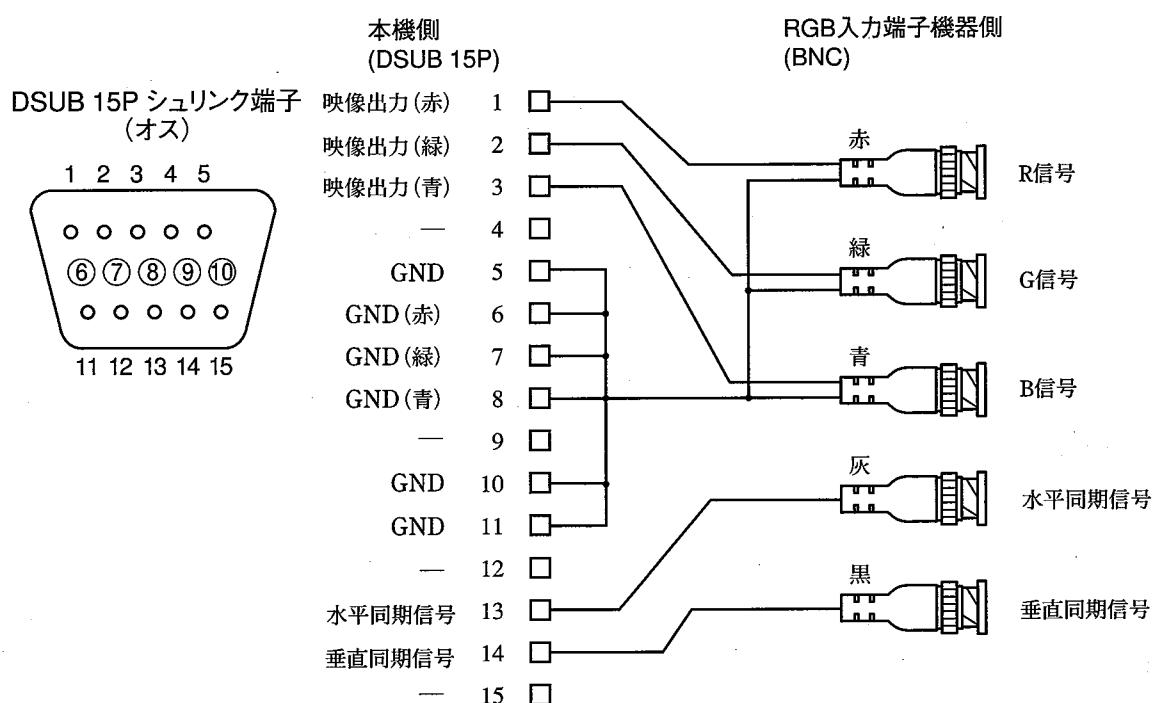
ピンNo.	名 称	ピンNo.	名 称	ピンNo.	名 称
1	映像入力 (赤)	6	GND (赤)	11	GND
2	映像入力 (緑)	7	GND (緑)	12	N.C
3	映像入力 (青)	8	GND (青)	13	水平／複合同期信号
4	N.C	9	N.C	14	垂直同期信号
5	GND	10	GND	15	N.C

○RGB出力信号について

●信号割付 (DSUB 15P シュリンク端子)

ピンNo.	名 称	ピンNo.	名 称	ピンNo.	名 称
1	映像出力 (赤)	6	GND (赤)	11	GND
2	映像出力 (緑)	7	GND (緑)	12	N.C
3	映像出力 (青)	8	GND (青)	13	水平同期信号
4	N.C	9	N.C	14	垂直同期信号
5	GND	10	GND	15	N.C

●アナログRGBケーブルの結線方法



●映像出力（RGB、コンポジット、Sビデオ）に関する制限事項

[注] 一印の仕様は無効となります。

	通常モード	2倍拡大中	フリーズ 動作中	白黒 モード時	ネガ モード時	画像回転時
ポジ／ネガ切換	○	※1	○	○	○	○
カラー白黒切換	○		—	○	○	○
電子画像拡大	○	○	○	○	○	○
解像度変換	○	○	※2	○	○	○
画像回転	○	○		○	○	○
セ ツ ト メ ニ ュ ー ト	ホワイトバランス	○	○	—	—	※3
	マイクボリューム	○	○	○	○	○
	アバーチャ切換	○	○	—	○	○
	ガンマ切換	○	○	○	○	○

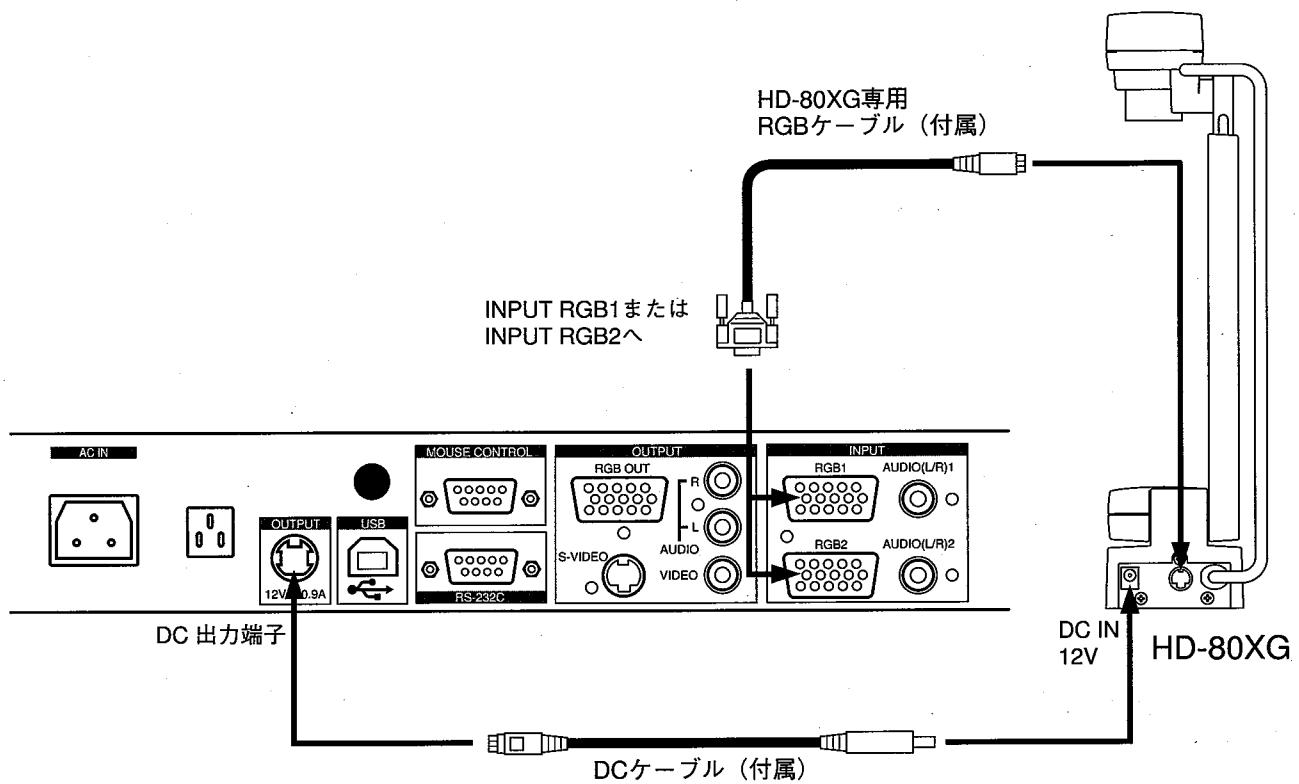
※1 フロント操作パネルからのボタン操作はスクロール機能が優先されます。

※2 フリーズは解除されます。

※3 マニュアル時はREDとBLUEが逆に働きます。

○資料提示装置（HD-80XG）の接続

本機DC出力端子を接続して、エルモ 資料提示装置（HD-80XG）を接続することができます。



[注] DCケーブル（付属）を使用する場合は、LM-5011N／HD-80XGに付属のACアダプタは使用しません。

5. 資料提示の操作手順

○印刷物などの資料を提示する場合の簡単な操作手順

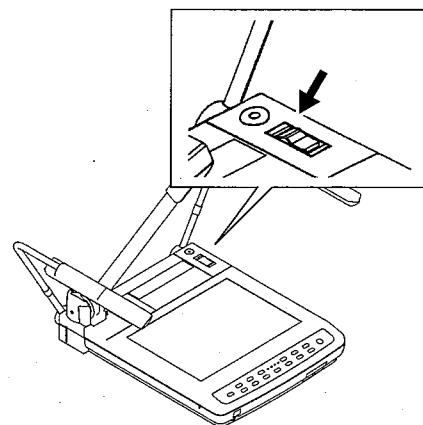
(1) 電源スイッチをONにします。

[注] モニターとの接続は前もって行ってください。

[注] フロント操作パネルの表示ランプ（緑色LED）が本機の各種機能の初期設定の状態を表示します。
電源スイッチをONにした後は、[本体カメラ/モード] の表示ランプのみが点灯します。

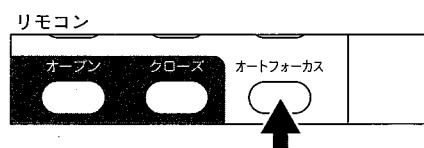
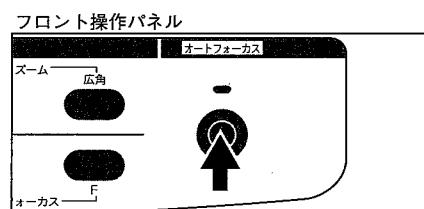
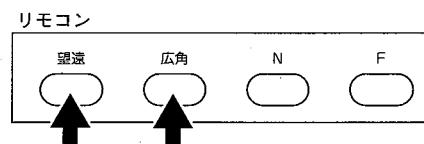
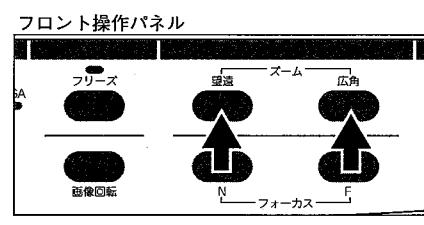
[注] 電源スイッチをOFFにした直後にONにした場合は、本機が作動しないことがあります。再起動の場合は、数秒おいてから電源スイッチをONにしてください。

(2) ステージ面に被写体を置き、被写体の大きさに応じてモニター画面を見ながらフロント操作パネルまたはリモコンの【望遠】(TELE)・【広角】(WIDE)ボタンで画像のサイズを調整します。



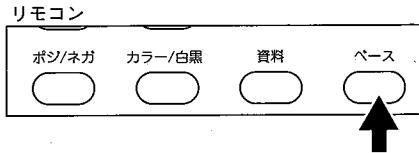
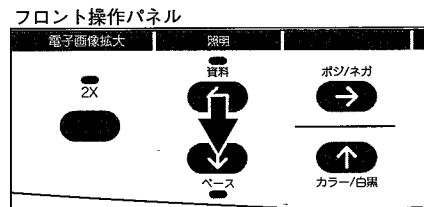
(3) フロント操作パネルのオートフォーカスボタンまたはリモコンの【オートフォーカス】(AF)ボタンを押し、ピントを合わせます。

[注] ピントが合う範囲はステージから約10cmの高さまでです。

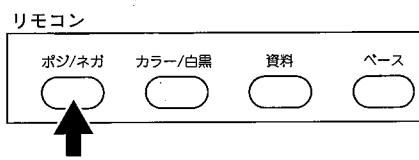
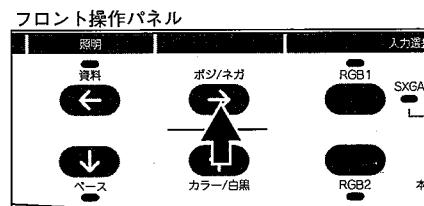


○スライドフィルムなどの透過資料を提示する場合の簡単な操作手順

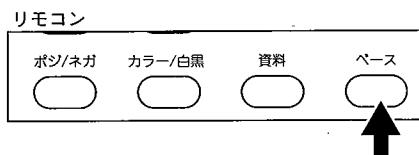
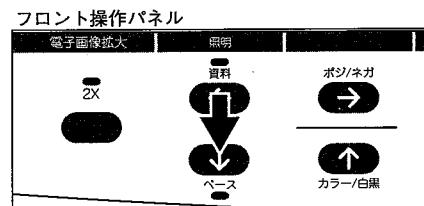
- (1) フロント操作パネルまたはリモコンの [ベース] (BASE) ボタンを押します。フロントパネルの [ベース] の表示ランプが点滅し、ステージ内蔵のベース照明（透過照明装置）が点灯します。



- (2) ネガフィルムを提示するときは、フロント操作パネルまたはリモコンの [ポジ/ネガ] (POSI/NEGA) ボタンを押し、ネガに切換えます。



- (3) ベース照明を消すときは再度フロント操作パネルまたはリモコンの [ベース] (BASE) ボタンを押します。



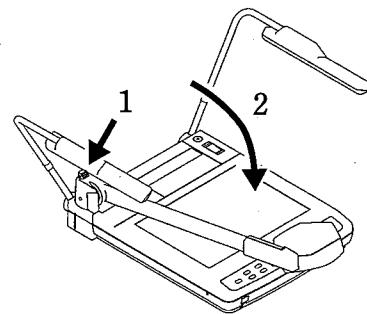
○収納

[注] LCDモニターを取り付けている時は、収納できません。
LCDモニターを取り外してから収納してください。

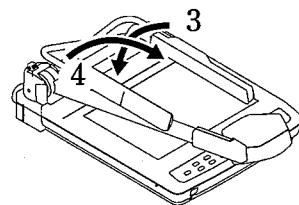
(1) 電源スイッチをOFFにして、電源コードおよびビデオケーブルを抜きます。

(2) 支柱ロック解除ボタンを押してロックを外し、支柱を倒します。

[注] 支柱は図の位置が所定の収納状態です。絶対に無理な力を加えないでください。



(3) 左右の資料照明アームを畳みます。
必ず右図の3のほうから畳んでください。



6. 各種機能について

○照明

印刷物などの資料を提示するための資料照明と、スライドフィルムやネガフィルムなどの透過資料を提示するためのベース照明が標準装備されています。

フロント操作パネルの照明ボタンまたはリモコンの【資料】(UPPER)・【ベース】(BASE)ボタンを押すと表示ランプが点滅し、2秒～3秒して蛍光ランプが点灯します。

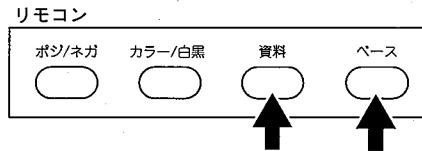
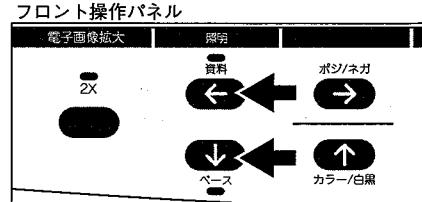
ランプを消すときは再度同じボタンを押します。

提示する資料に合わせてフロント操作パネルまたはリモコンの【資料】(UPPER)・【ベース】(BASE)ボタンを押して照明を点灯してください。

工場出荷時の設定は、電源立ち上げ時に資料照明が点灯します。

[注] 資料照明とベース照明を同時に点灯させることはできません。

[注] 資料照明ランプは資料面の照度が不十分なとき、あるいは立体物を提示する場合にご使用いただきますと、演色性の良い鮮明な映像が得られます。

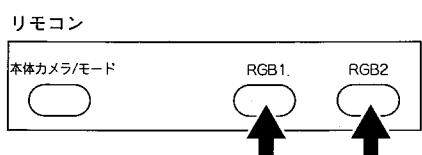
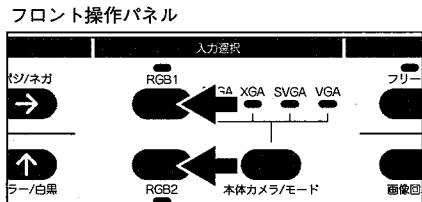


○入力選択

接続ケーブルを差し替えることなく、コンピュータやエルモ資料提示装置「HD-80XG」など2台の映像を入力選択ボタンで簡単に切換えてモニターに映し出すことができます。

フロント操作パネルまたはリモコンの入力選択ボタン([RGB1]、[RGB2])で切換えできます。

入力を切換えると、出力される信号は次ページの表のようになります。



●映像、音声入出力端子切換一覧表

入力選択		出力される信号			映像出力端子		音声出力端子	
		RGB	コンポジット	Sビデオ	L	R		
本体	本体カメラ映像信号	○	○	○	—	—	—	—
	マイク モノラル	—	—	—	○	○	—	—
RG B 1	本体カメラ映像信号	—	○	○	—	—	—	—
	外部映像信号1 RGB1	○	—	—	—	—	—	—
	外部音声信号1	ステレオ1 (L/R)	—	—	—	○	○	—
	マイク	モノラル	—	—	—	○	○	—
RG B 2	本体カメラ映像信号	—	○	○	—	—	—	—
	外部映像信号2 RGB2	○	—	—	—	—	—	—
	外部音声信号2	ステレオ2 (L/R)	—	—	—	○	○	—
	マイク	モノラル	—	—	—	○	○	—

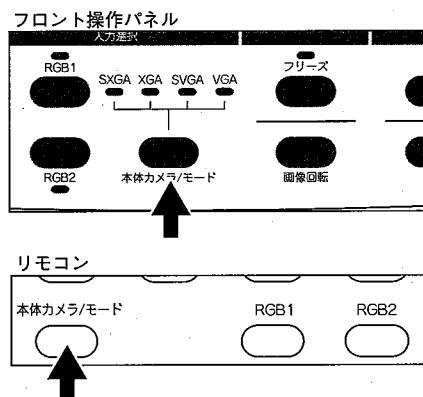
[注] コンポジット、Sビデオ出力端子には、入力選択に関係なく常に本体カメラの映像が出力されます。

○解像度変換

フロント操作パネルまたはリモコンの [本体カメラ/モード] (MAIN/MODE) ボタンを押すと、本体の解像度を変換します。

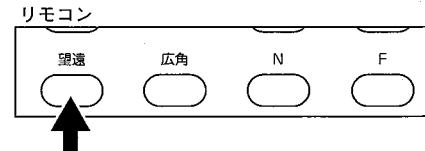
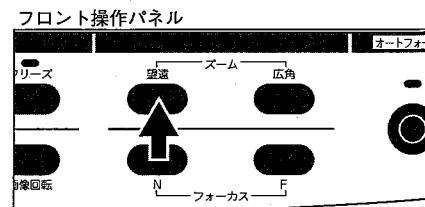
モニターがSXGAに対応していない場合は、[本体カメラ/モード] (MAIN/MODE) ボタンを押すごとに、本体の解像度をSXGA→XGA→SVGA→VGAの順に切り換えることができます。

フロント操作パネルの [本体カメラ/モード] (MAIN/MODE) ボタンの上の4つのLEDは、そのときの解像度を点灯して示します。

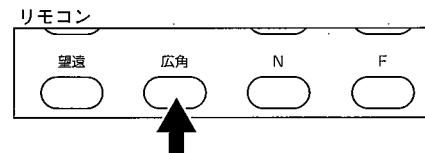
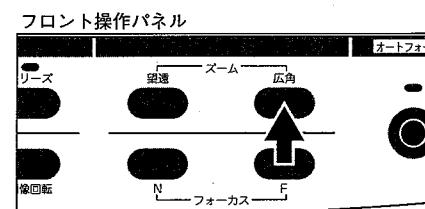


○ズーム

フロント操作パネルまたはリモコンのズームボタン【望遠】(TELE) を押すと、映像のサイズが徐々に大きくなります。



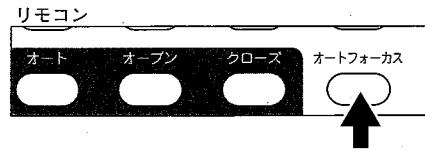
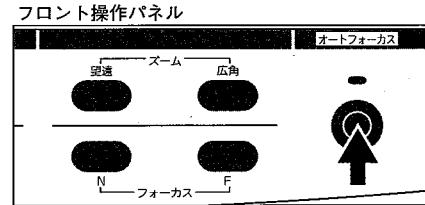
フロント操作パネルまたはリモコンのズームボタン【広角】(WIDE) を押すと、映像のサイズが徐々に小さくなります。



○フォーカス

●オートフォーカス

フロント操作パネルまたはリモコンの【オートフォーカス】(AF) ボタンを押すとオートフォーカス動作します。オートフォーカス動作中はフロント操作パネルの表示ランプが点滅し、被写体にピントが合うと点滅が終わります。



本機はワンショットオートフォーカス方式です。一度ピントが合うとオートフォーカス動作は解除されるので、その時のピント位置を維持します。(FOCUSFREE)
フロント操作パネルまたはリモコンのズームボタンの[望遠] (TELE) ボタンを押して被写体の映像サイズを最も大きくした状態でオートフォーカスを動作させると、より高精度な映像になります。

下記のような被写体は、オートフォーカスではピントが合わない場合があります。この場合は、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

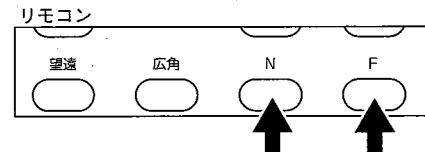
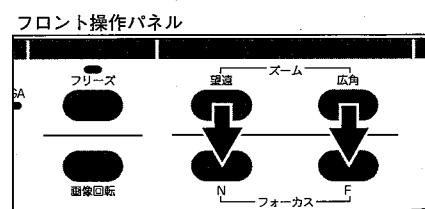
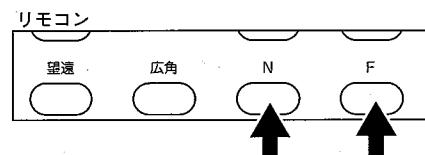
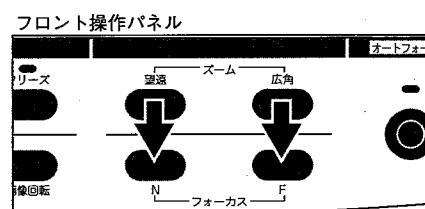
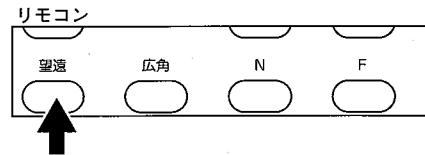
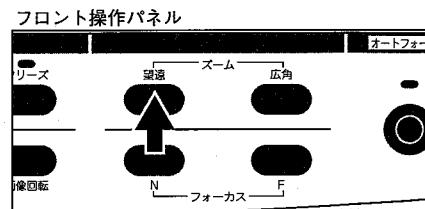
- ・明暗の差 (コントラスト) の少ない被写体
- ・横じま、格子模様など細かい繰り返しパターンの被写体
- ・輝いていたり強い光を反射して光っている被写体
- ・被写体の背景が明るいときや、明暗がはっきりしちすぎているとき
- ・画面全体が暗いとき
- ・被写体が遠くと近くに共にあるとき
- ・動く被写体

オートフォーカス動作中にフロント操作パネルまたはリモコンのマニュアルフォーカスボタン [N] (NEAR) ・ [F] (FAR) を押すと、オートフォーカス動作は解除されます。

[注] ピントが合う範囲はステージから約10cmの高さまでです。

オートフォーカスにおいて、ピントが合うまでに、時間がかかる場合があります。

あらかじめ、マニュアルにて、フォーカスの粗調整をしてから、オートフォーカスボタンを押してください。



●電動マニュアルフォーカス

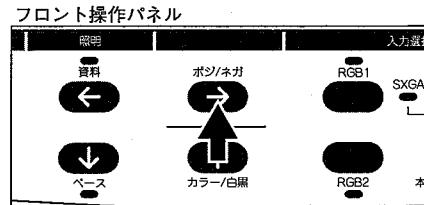
立体資料などの任意の部分にピントを合わせる時に使用します。

フロント操作パネルまたはリモコンのフォーカスボタン [N] (NEAR) ・ [F] (FAR) を押します。

[注] ピントが合う範囲はステージから約10cmの高さまでです。

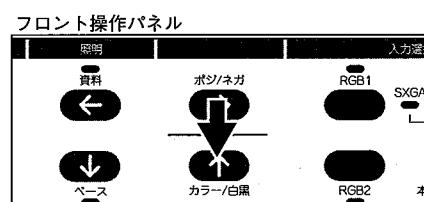
○ポジ／ネガ反転

ネガフィルムを提示するときに使用します。
フロント操作パネルまたはリモコンの [ポジ/ネガ] (POSI/NEGA) ボタンを押すと映像が反転されます。
再度 [ポジ/ネガ] (POSI/NEGA) ボタンを押すと通常の状態になります。



○カラー／白黒切換

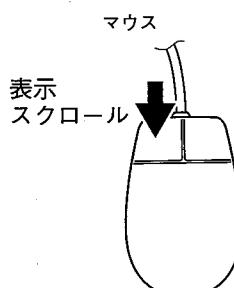
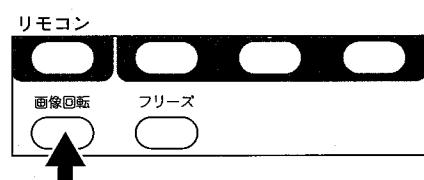
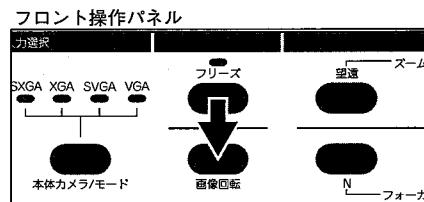
文書等の白黒原稿を提示するときに使用します。モニター上での色にじみがない、より鮮明な画像が得られます。
通常はカラー表示の状態にしておきます。
フロント操作パネルまたはリモコンの [カラー/白黒] (COLOR/B&W) ボタンを押すと、映像が白黒になります。
再度 [カラー/白黒] (COLOR/B&W) ボタンを押すと通常の状態になります。



○画像回転

フロント操作パネルまたはリモコンの [画像回転] (IMAGE ROTATION) ボタンを押すと画像が回転します。
[画像回転] (IMAGE ROTATION) ボタンを1回押すごとに、
反時計回りに90° ずつ画像が回転します。

90°、270° のときは、上下方向に画面をスクロールできます。詳しくは、P.27 「○ビデオポインター」を参照してください。



○アイリス

絞りをマニュアルで調整することができます。

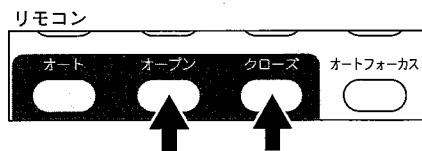
リモコンの【アイリス・オープン】(OPEN) ボタンを押すと、絞りが開きます。

【アイリス・クローズ】(CLOSE) ボタンを押すと、絞りが閉じます。

マニュアルのときは、被写体の明るさの変化によって絞りは固定となり、追従しません。

初期設定はオートアイリスです。

[注] OSDによる調整は、P.31をご覧ください。



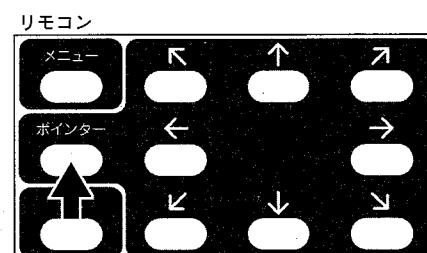
○ビデオポインター

リモコンの【ポインター】(POINTER) ボタンまたはマウスの左クリックで、ビデオポインターを表示します。

リモコンおよびフロント操作パネルの矢印ボタンまたはマウスの左ドラッグで、ビデオポインターが移動します。

再度、リモコンの【ポインター】(POINTER) ボタンを押すか、マウスの左クリックで、ビデオポインターは消えます。

[注] 電子画像拡大時や画像回転(90° / 270°)時の画面スクロールには移動用ポインターに変わります。



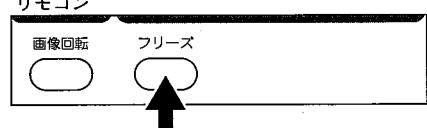
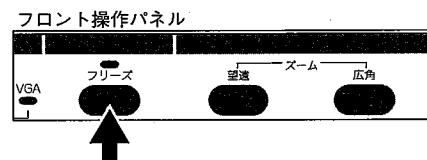
○フリーズ

フロント操作パネルまたはリモコンの【フリーズ】(PAUSE) ボタンを押すと、本体カメラの画像が静止します。

再度【フリーズ】(PAUSE) ボタンを押すと、フリーズが解除されます。

[注] 画像がフリーズ状態のときに、解像度変換および画像回転をすると、フリーズは解除されます。

また、フリーズ状態のときは、カラー／白黒切換は無効になります。



○電子画像拡大

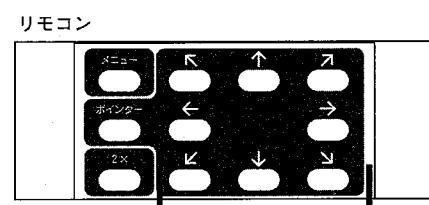
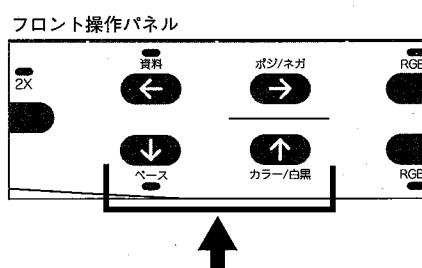
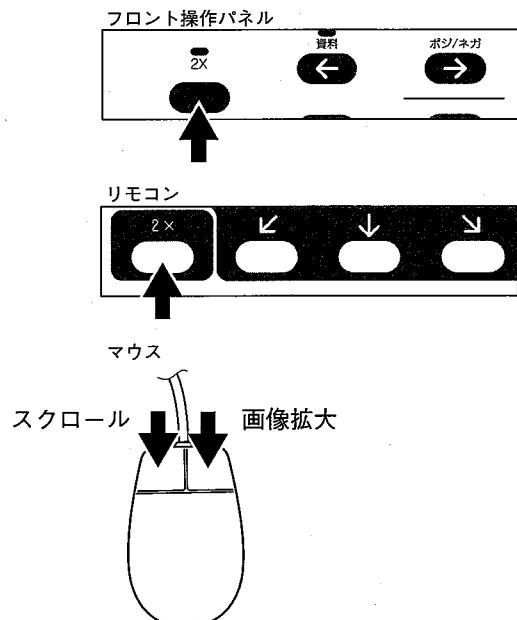
映像を2倍に拡大します。

フロント操作パネルおよびリモコンの [2X] ボタンまたはマウスの右クリックで、映像が2倍に拡大されます。同時に移動用ポインターが表示されます。

矢印ボタンおよびマウスの左ドラッグで、画面がスクロール（移動）します。スクロールの範囲は、本体カメラの撮影範囲内のみです。

ビデオポインターを画面の隅にあてていると、映像がその方向にスクロールします。

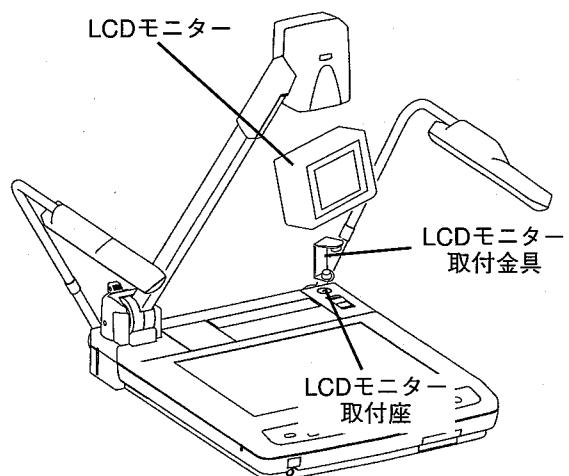
拡大の範囲は、本体カメラの映像範囲内のみです。



○LCDモニター取付座について

別売りのLCDモニターを取付けるときに、LCDモニター取付金具を本機に取付けるための座です。

接続方法、接続コード等は、LCDモニターの取扱説明書を参照してください。



○パソコンリンクソフト「Image Mate for USB」について

「Image Mate for USB」をパソコンにインストールすることにより、次の操作ができます。

- ・パソコンへの画像データ転送
- ・パソコンによる本機の操作

詳しくは「Image Mate for USB」のインストール説明書とCD-ROMの中の「manual.pdf」を参照してください。

参照

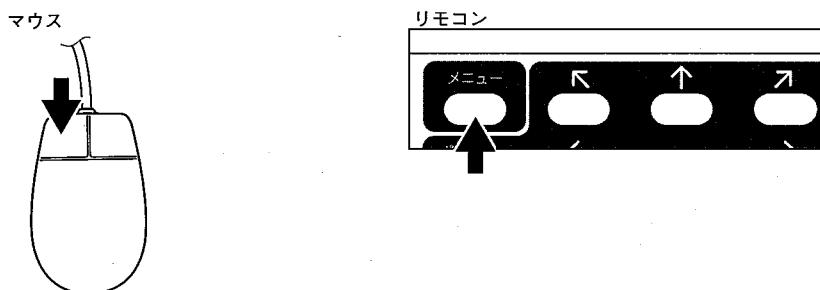
USB/RS-232C切換

P. 32

7. OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) について

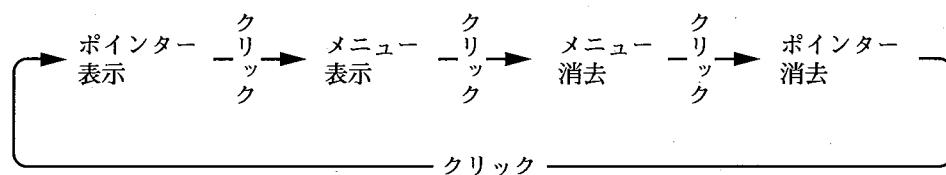
マウスの左ボタンをクリックするか、またはリモコンの [メニュー] (MENU) ボタンを押すと、OSDメニューとポインターが表示されます。

マウスかリモコンのボタンで各機能の項目を設定します。



マウスでの操作方法は以下のようにになります。

- ・左ボタン クリックするごとに、ポインターとメニューの表示・消去を行います。



メニュー表示時に、OSDでの各項目の設定を行います。

電子画像拡大および画像回転 (90° / 270°) 中は、左ボタンによるドラッグで画像のスクロール機能が働きます。

[注] OSDを表示しないで 90° 、 270° の画像回転を行った場合はスクロール（左ドラッグ）が優先されるので、マウスでのOSDメニュー表示はできません。

リモコンまたはUSBにてOSDメニューを表示してください。

- ・右ボタン ポインター表示中にクリックすると、ポインターが指している位置を中心として電子画像拡大が働きます。

[注] OSDメニュー上でクリックすると、メニューの機能が優先されます。

リモコンでの操作方法は以下のようにになります。

- ・ [↑] [↓] [→] [←] [↖] [↙] [↗] [↖] ボタン ポインターによる選択
- ・ [メニュー] ボタン 決定

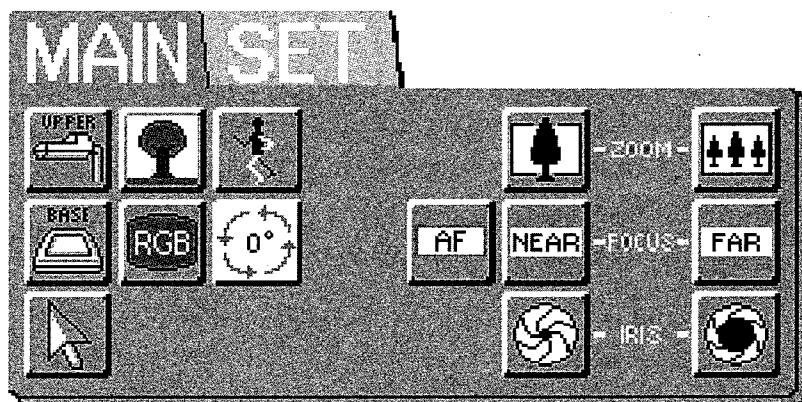
[メニュー] (MENU) ボタンをもう一度押すと、OSDメニューが消えてポインターだけが表示されます。

ポインターの操作方法については、P.27をご覧ください。

[注] OSD表示は、プロジェクタなどを使用して、大きな投映サイズでお使いになることを前提に設計されております。手元のモニター及びテレビなどでは、表示が見にくいことがあります。

○メインメニューについて

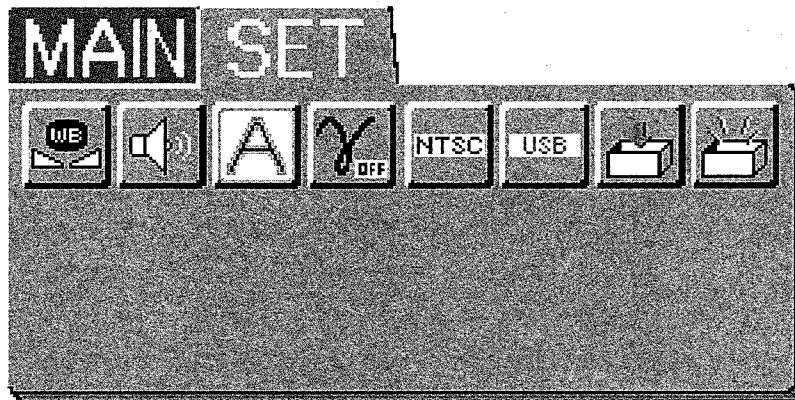
メインメニューの項目は、本体のフロント操作パネルおよびリモコンからも設定できます。



アイコン	名 称	機 能
	資料照明切換	資料照明のON/OFFを切り替えます。メインメニュー立ち上げ時は、前回のセーブ内容に設定されています。マウスでこのアイコンを左クリックすると、照明が切り替わります。
	ベース照明切換	ベース照明のON/OFFを切り替えます。メインメニュー立ち上げ時は、前回のセーブ内容に設定されています。マウスでこのアイコンを左クリックすると、照明が切り替わります。
	ポジ／ネガ切換	画面のポジ／ネガ設定を切り替えます。メインメニュー立ち上げ時の状態はポジです。マウスでこのアイコンを左クリックすると、アイコンが変わり、ネガに設定されます。
	カラー白黒切換	画面のカラー／白黒の設定を切り替えます。メインメニュー立ち上げ時の状態はカラーです。マウスでこのアイコンを左クリックすると、アイコンが変わり、白黒に設定されます。 [注] フリーズ時は動作しません。
	フリーズ	静止画／動画の設定を切り替えます。メインメニュー立ち上げ時の状態は動画です。マウスでこのアイコンを左クリックすると、アイコンが変わり、静止画に設定されます。 [注] フリーズ時に解像度変換・画像回転をすると、フリーズが解除されます。
	画像回転	画像回転の設定を切り替えます。メインメニュー立ち上げ時の状態は0°です。マウスでこのアイコンを左クリックするごとに、アイコンが変わり、90°、180°、270°と反時計回りに画像が回転します。
	オートフォーカス	オートでフォーカスを合わせます。マウスでこのアイコンを左クリックすると、動作します。 [注] オートフォーカス中はメニュー操作はできません。
	ズーム 望遠／広角	レンズのズーム調整を行います。マウスでこのアイコンを押し続けると動作します。
	フォーカス NEAR/FAR	レンズのフォーカス調整を行います。マウスでこのアイコンを押し続けると動作します。

アイコン	名 称	機 能
	アイリス 閉／開	レンズのオートアイリスレベルの調整を行います。マウスでこのアイコンを押し続けると動作します。
	ポインター	画面上のポインターの色を変更するときに使用します。左クリックするごとにアイコンのポインターの色が、白→青→黄→赤の順に変わり、それにともなって画面上のポインターの色も、白→青→黄→赤の順に変わります。

○セットメニューについて



アイコン	名 称	機 能
	ホワイトバランス	ホワイトバランスのオート／マニュアル／ワンプッシュを切り替えます。セットメニュー立ち上げ時の状態はオートです。 [注] ワンプッシュ時は〈RED〉〈BLUE〉の調整はできません。
	オート	自動追尾のホワイトバランスの設定になります。(初期設定)
	マニュアル	ホワイトバランスを〈RED〉〈BLUE〉で設定することができます。ボリュームバー横の矢印ボタンを左クリックして調整してください。 〈RED〉 ……赤色成分の調整をします。(-127～+127) 〈BLUE〉 ……青色成分の調整をします。(-127～+127)
	ワンプッシュ	ワンプッシュホワイトバランスの設定になります。マウスを左クリックすると、そのときの色温度のホワイトバランスに固定します。
	ボリューム調整 (0～63)	マイク端子からの音量を調整します。セットメニュー立ち上げ時は前回のセーブ内容に設定されています。マウスでこのアイコンを左クリックすると、ボリュームバーが現れます。ボリュームバー横の矢印ボタンを左クリックして音量を調整してください。再度ボリューム調整のアイコンを左クリックすると、ボリュームバーが消えます。 工場出荷時は41に設定されています。

アイコン	名 称	機 能
	アパートチャ切換	映像のメリハリ（エッジ強調）を切り替えます。セットメニュー立ち上げ時の状態はONです。マウスでこのアイコンを左クリックすると、アイコンが変わり、OFFに設定されます。 [注] NTSC/PAL用モニターでは無効です。
	ガンマ切換 ON/OFF	ガンマ設定値（1.0/0.6）を切り替えます。セットメニュー立ち上げ時は、前回のセーブ内容に設定されています。 工場出荷時はOFF（1.0）に設定されています。
	NTSC/PAL切換 NTSC/PAL	ダウンコンバータ出力方式（NTSC/PAL）を切り替えます。セットメニュー立ち上げ時は前回のセーブ内容に設定されています。 工場出荷時はNTSCに設定されています。
	USB/RS-232C切換 USB/RS-232C	外部機器による本体制御の方法（USB端子/RS-232C端子）を切り替えます。セットメニュー立ち上げ時は前回のセーブ内容に従って設定されています。 工場出荷時はUSBに設定されています。
	状態保存	現在の状態・調整値を保存します。照明のON/OFF、解像度、ガンマ、NTSC/PAL、USB/RS-232Cの状態、およびマイクボリューム値、REDゲイン値、BLUEゲイン値を記憶します。
	初期化	調整値を工場出荷時に戻します。ただし、解像度変換、NTSC/PAL切換、USB/RS-232C切換の状態は現在の設定のままです。

8. RS-232Cについて

RS-232C端子 [RS-232C] をパソコンに接続することにより、本機をパソコン側から制御することができます。

○セットアップの方法

- (1) 本機とパソコン間をRS-232Cケーブルで接続してください。

[注] 市販のRS-232Cケーブルを使用する場合は、次ページの結線になっていることを確認してからお使いください。

[注] 本機およびパソコンを保護するため、接続するときは必ずすべての機器の電源スイッチをOFFにしてください。

- (2) P.32を参照して、OSDメニューの [USB] のアイコンを、[RS-232C] に変更してください。

- (3) パソコンを起動してRS-232Cのボーレイト（通信速度）を9600bpsに設定してください。

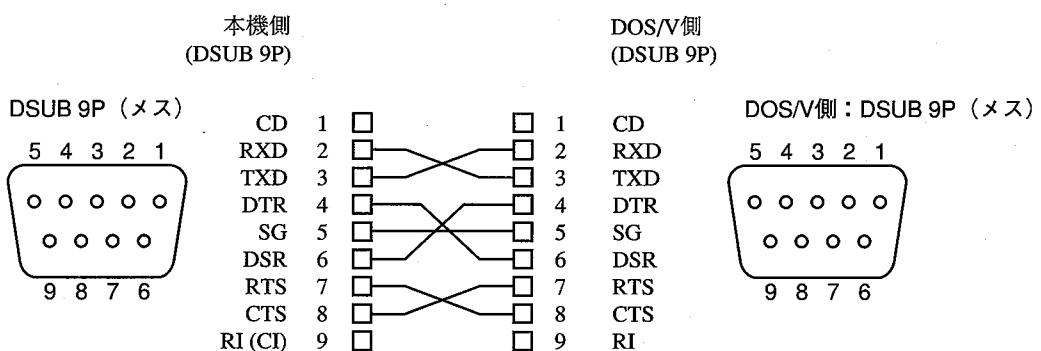
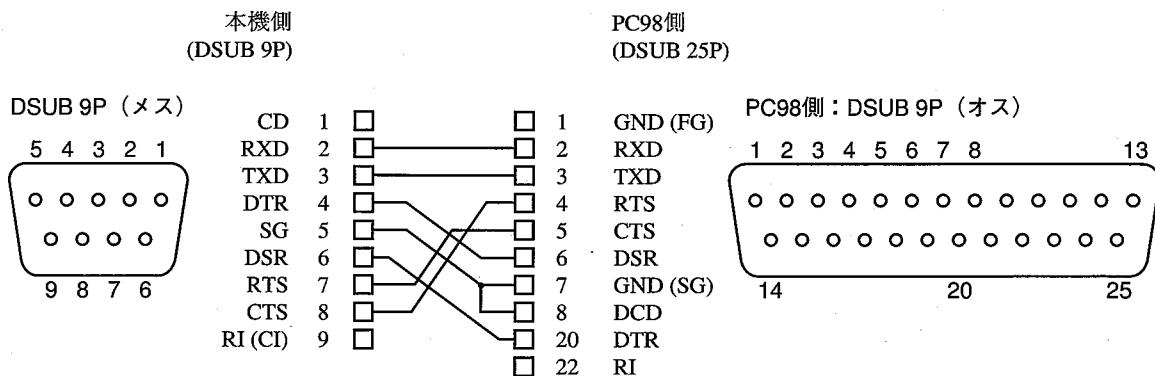
[注] RS-232C通信方式の設定は、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

- (4) パソコンより本機を動作させるコマンド（通信コマンド一覧表参照）を送信します。

- (5) RS-232C制御が開始します。

[注] 通信制御をするときは、必ず上記の順序でセットしてください。

○接続ケーブルの結線方法



○RS-232Cコネクタ仕様 (DSUB 9P)

ピンNo.	略称	名 称	データの方向 本機 パソコン	備 考
1	CD	キャリア検出	—	CD : Carrier Detect
2	RXD	受信データ	←	RXD : Received Data
3	TXD	送信データ	→	TXD : Transmitted Data
4	DTR	端末準備完了	→	DTR : Data Terminal Ready
5	SG	通信用接地	—	SG : Signal Ground
6	DSR	データ準備完了	←	DSR : Data Set Ready
7	RTS	送信要求	→	RTS : Request To Send
8	CTS	送信許可	←	CTS : Clear To Send

○通信コマンド一覧表

動作	コマンド	パラメータ	データ	備考
オートフォーカス	AF	0	■■■	ワンショットオートフォーカスをするコマンドです。
フォーカス調節	FO	+ (NEAR) - (FAR) 0 (STOP)	■■■	フォーカス調整をするコマンドです。
ズーム調節	ZO	+ (TELE) - (WIDE) 0 (STOP)	■■■	ズームを調整するコマンドです。
アイリス調節	IR	+ (OPEN) - (CLOSE) 0 (STOP) 1 (AUTO)	■■■	アイリス調整をするコマンドです。
照明切換	PL	0 (OFF) 1 (BASE) 2 (UPPER)	■■■	照明装置の切換えをするコマンドです。
入力切換	AV	0 (MAIN) 1 (AV1) 2 (AV2)	■■■	入力系統の切換えをするコマンドです。
ポジ／ネガ切換	NP	0 (POSI) 1 (NEGA)	■■■	ポジ／ネガ反転をするコマンドです。
カラー／白黒切換	CB	0 (COLOR) 1 (B&W)	■■■	カラー／白黒切換えをするコマンドです。
ビデオポインター表示	PO	0 (OFF) 1 (ON)	■■■	ビデオポインターの表示をON/OFFするコマンドです。
拡大画像移動	PM	0 (STOP) 1 (→) 2 (←) 3 (↑) 4 (↓) 5 (↗) 6 (↖) 7 (↘) 8 (↙)	■■■	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオポインター表示がONの時 ビデオポインターが移動します。 ・画像拡大がONの時 拡大画像が移動します。 <p>1 : 右側に移動 2 : 左側に移動 3 : 上側に移動 4 : 下側に移動 5 : 右上に移動 6 : 左上に移動 7 : 右下に移動 8 : 左下に移動</p>
画像拡大	MA	0 (OFF) 1 (ON)	■■■	画像を拡大するコマンドです。ビデオポインターの表示位置を中心としたエリアを2倍に拡大します。
フリーズ	FZ	0 (OFF) 1 (ON)	■■■	映像を静止させるコマンドです。
ローカルロックアウト	LL	0 (OFF) 1 (ON)	■■■	フロント操作パネルのスイッチおよびリモコンを無効にするコマンドです。

動作	コマンド	パラメータ	データ	備考
解像度変換	RS	0 (VGA) 1 (SVGA) 2 (XGA) 3 (SXGA)	■■	解像度を変換するコマンドです。
ガンマ切換	GM	0 (1.0) 1 (0.6)	■■	映像のガンマ設定値を切り換えるコマンドです。
画像回転	RO	0 (OFF) 1 (90°) 2 (180°) 3 (270°)	■■	映像を回転させるコマンドです。
アーチャ 切換	AP	0 (OFF) 1 (ON)	■■	映像のメリハリ（エッジ強調）を切り換えるコマンドです。
デフォルト	DF	0	■■	初期設定の状態に戻すコマンドです。
ステータス 要求	QS	0 2	■■	機器の状態を問い合わせるコマンドです。
ROM バージョン	QR	0	■■	ROMバージョンを参照するコマンドです。
応答データ 選択 1	SA	0 (OFF) 1 (ON)	■■	各操作コマンドに対する応答の有無を選択するコマンドです。 デフォルトはONです。
応答データ 選択 2	SC	0 (OFF) 1 (ON)	■■	応答データの終わりにCR [0Dh] をつけるコマンドです。 デフォルトはOFFです。

[注] データ中の「■■」の部分は、SPACE [20H] を2回送信してください。

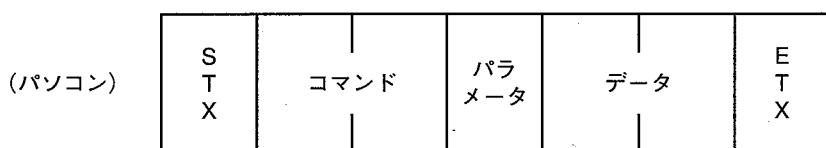
○データフォーマット仕様

このコマンドは1コマンド／1パケットの形態で行います。1つの処理を行わない限り次のコマンドは受け付けません。

- ・通信コマンドは必ずSTX (Start of Text) で始まり、ETX (End of Text) で終わります。
- ・通信フォーマットの形式やコマンド名が間違っていると本機からNAK (異常受信：Negative Acknowledge) が送られ、正常応答しません。
- ・通信フォーマットが正しく送られると本機からACK (正常受信：Acknowledge) が送られます。

●操作コマンド (パソコン→本機)

各操作コマンドはすべてASCIIコードで行い、下記のように7バイトを1セットとして送信します。



(本体) → ACK

●応答データフォーマット（本機→パソコン）

応答データはすべてASCIIコードにて送信し、操作コマンド一覧表のパラメータに対応しています。

- ・ステータス要求（パラメータ0）

S T X	照明切換	入力選択	ポジ ／ネガ	カラー ／白黒	ポインター 表示	画像 拡大	フリーズ	ローカル ロックアウト	E T X
-------------	------	------	-----------	------------	-------------	----------	------	----------------	-------------

- ・ステータス要求（パラメータ2）

S T X	解像力 選択	γ切換	画像回転	アパー/チャ ンク切換	30H	30H	30H	30H	E T X
-------------	-----------	-----	------	----------------	-----	-----	-----	-----	-------------

- ・ROMバージョン

S T X	V 56H	H 48H	C 43H	＊＊H	＊＊H	＊＊H		E T X
-------------	----------	----------	----------	-----	-----	-----	--	-------------

└バージョン┘

○通信仕様

- ・全二重調歩同期方式
- ・スタートビット : 1ビット
- ・データビット : 8ビット
- ・ストップビット : 1ビット
- ・パリティビット : なし
- ・Xパラメータ : なし
- ・ボーレイト（通信速度）: 9600bps

○接続について

RS-232Cケーブルが本機とパソコンに正しく接続されていない場合には無応答になります。

RS-232Cケーブルは正しく接続し、コネクタ止めネジで確実に固定してください。

9. 照明ランプ（蛍光ランプ）について

照明ランプ（蛍光ランプ）は消耗品ですので、チラツキだしたり暗くなったときは取り換えてください。

[注] ランプの交換は、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支店、営業所までご相談ください。

10. 故障かな？と思ったら

現象	この点を確認してください
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・正しくケーブルが接続されていますか。 ・電源プラグが壁側コンセントからはずれていませんか。 ・電源コードが本機の電源受け口からはずれていませんか。 ・電源スイッチが入っていますか。 ・ズームが望遠になって映している資料の白い部分（または黒い部分）だけを見ていませんか。 ・電源スイッチをOFFにした直後にONした場合は、機器が作動しないことがあります。電源OFF後、数秒おいてから電源スイッチをONにしてください。
画像のピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿（被写体）がレンズに近づきすぎ、ステージ面から10cm以上の高さになってしまいませんか。 ・広角（ワイド側）でピントを合わせたのち、ズームを望遠側にしているとピントは望遠最大の所で合わせてください。 ・オートフォーカスの場合、ピントが合わせにくい場合があります。
照明ボタンを押しても すぐに点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプ保護のため、約2秒間予熱をした後点灯させています。 故障ではありません。
映像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・照明が不足していませんか。資料照明ボタンを押してランプを点灯してください。
映像に縞模様が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷物の網点とCCDの画素の干渉縞ではありませんか。 映る範囲を変えると軽減される場合があります。 ・液晶プロジェクターでは画面に縦縞が現われることがありますが、プロジェクター側のドットクロック周波数をマニュアル調整することで軽減することができます。（P.15 参照）
輝度階調が合わない	<ul style="list-style-type: none"> ・ガンマ設定の切換を行うと軽減される場合があります。

以上のことをお確かめのうえ、異常があるときは、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支店・営業所までご相談ください。

11. 仕様

●総合仕様

項目	内 容		
電源	AC100V 50Hz/60Hz		
消費電力	45W		
ACコンセント	1個（最大400Wまで／電源スイッチ非連動）		
DC出力端子	1個 DC12V（最大0.9Aまで）		
外形寸法	幅400mm 奥行655mm 高さ187mm（収納時） 幅700mm 奥行542mm 高さ615mm（セットアップ時）		
質量	10kg（本体のみ）		
入力選択	本体／外部2系統		
出力端子	RGB出力	ミニDSUB 15Pコネクタ メス	×1
	コンポジットビデオ出力	RCAピンジャック／75Ω不平衡（NTSC／PAL）	×1
	Sビデオ出力	ミニDIN 4Pコネクタ／75Ω不平衡（NTSC／PAL）	×1
	音声出力（ステレオ）	RCAピンジャック／適合インピーダンス10kΩ以上-10dB	×1組
入力端子	RGB入力	ミニDSUB 15Pコネクタ メス	×2
	音声入力（ステレオ）	500mV (rms) インピーダンス47kΩ以上 φ3.5mmステレオミニジャック	×2
	マイク入力（モノラル）	径6.3mmジャック／適合インピーダンス600Ω-65dB	×1
外部制御端子	RS-232C	DSUB 9P コネクタ オス	×1
	マウス	DSUB 9P コネクタ オス	×1
	USB	タイプB レセプタクル	×1

●カメラ部仕様

項目	内 容
撮影レンズ	f = 7.2mm～72mm (10倍ズーム) F 2.8
撮像速度	7.5フレーム／秒
撮像範囲	最大 横362mm 縦290mm 最小 横40mm 縦32mm
焦点調節可能範囲	ステージ面～ステージ面上100mm
ズーム	電動（倍速機能付）
フォーカス	AF／電動
アイリス	自動（レベル調節可能）／マニュアル
撮像素子	1/2インチ CCD
総画素数	水平1434 垂直1050 150万画素
有効画素数	水平1280 垂直1024
同期方式	内部
解像度	アナログRGB出力 水平 800TV本以上 垂直 800TV本以上 (SXGA出力時) ビデオ出力 水平 400TV本以上
アナログRGB出力	SXGA 水平周波数 79.976kHz 垂直周波数 75.025Hz (1280×1024@75Hz) VESA準拠 XGA 水平周波数 60.023kHz 垂直周波数 75.029Hz (1024×768@75Hz) VESA準拠 SVGA 水平周波数 46.875kHz 垂直周波数 75.000Hz (800×600@75Hz) VESA準拠 VGA 水平周波数 37.500kHz 垂直周波数 75.000Hz (640×480@75Hz) VESA準拠
コンポジットビデオ出力	NTSC/PAL準拠
S映像出力	NTSC/PAL準拠
ホワイトバランス	フルオート／ワンプッシュ／マニュアル
ポジ／ネガ反転	可能
カラー／白黒切換	可能
画像回転	可能
解像度変換	可能 (SXGA→XGA→SVGA→VGA)
ガンマ切換	可能 (1.0/0.6)
アーチャ切換	可能
ビデオ出力切換	可能 (NTSC/PAL)
フリーズ	可能
電子画像拡大	可能 (2倍、スクロール可能)
ポインター	リモコン、マウスで制御可能 (色選択可能)

●照明装置

項目	内 容	
資料照明	高周波点灯方式、3波長蛍光ランプ	6W (型名: FHL6EX-N)
ベース照明	高周波点灯方式、3波長蛍光ランプ	エリアサイズ横296mm 縦216mm

●付属品

名 称	数 量
電源コード	1
DCケーブル	1
ビデオ／オーディオケーブル	1
ミニDIN 4P (S-ビデオ用) ケーブル	1
マウス	1
赤外線ワイヤレスリモコン (RCW-802)	1
リモコンと文操作パネル	1
単4形乾電池	2
アナログRGBケーブル (BNCコネクタ)	1
VGAケーブル (ミニDSUB 15Pコネクタ)	1
パソコンリンクソフト「Image Mate for USB」 CD-ROM	1
USBケーブル	1
モニター取付金具	1
HV-700SX取扱説明書	1
保証書	1

●別売りオプション

- ・5型TFT液晶カラー モニターキット 「LM-5011N」

[注] RCAピンはEIAJ RC-6703準拠のピンプラグを使用してください。

[注] 仕様は予告なしに変更することがあります。ご了承ください。

商標について

VESAは、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。

VGA、SVGA、XGA、SXGAは、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。

ELMO、VISUAL PRESENTER／ビジュアルプレゼンター、FOCUSFREE、Image Mateは株式会社エルモ社の登録商標です。

ご 注意

スライド・書籍・写真等は個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画できませんのでご注意ください。

この装置は、商工業地域で使用されるべき情報装置です。住宅地、またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に、受信障害を与えることがあります。

補修用性能部品について

当社ではこの製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するため必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

EIMO 株式会社 エルモ社

製品のお問い合わせは、最寄りの弊社支店または営業所へ

本 社 名 古 屋 市 瑞 穂 区 明 前 町 6 番 14 号 ☎ (052)811-5131 ₩467-8567

東京支店	東京都港区三田3丁目7番16号	☎ (03)3453-6471	₩108-0073
名古屋支店	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎ (052)824-1571	₩467-8567
大阪支店	大阪市中央区東高麗橋2番4号	☎ (06)6942-3221	₩540-0039
九州支店	福岡市博多区冷泉町2番8号 朝日プラザ祇園2階	☎ (092)281-4131	₩812-0039
北海道営業所	札幌市中央区北4条西15丁目1番40号	☎ (011)631-8636	₩060-0004
仙台営業所	仙台市青葉区中央4丁目10番14号 エノトセーフビル	☎ (022)266-3255	₩980-0021
広島営業所	広島市中区小町5番8号 ドルチェ2階	☎ (082)248-4800	₩730-0041